

[AudioGate について よくあるご質問\(FAQ\)](#)

[AudioGate の仕様および操作方法に関する質問](#)

[AudioGate 4 について](#)

[DSD 音源の入手について](#)

[DS-DAC シリーズについて よくあるご質問\(FAQ\)](#)

[DS-DAC シリーズ製品の仕様および操作方法に関する質問](#)

[DSD 音源の入手について](#)

[故障とお思いになる前に](#)

[コルグ・カスタマー・サポートへのお問い合わせ](#)

AudioGate について よくあるご質問(FAQ)

AudioGate の仕様および操作方法に関する質問

Twitter 機能の利用ができません。

Twitter 認証機能を廃止しました。MR シリーズ、DS-DAC シリーズ製品をお持ちでない方には、AudioGate 4 のライセンス販売をご用意しております。また入出力(録音再生)ともにサンプリング周波数が 48kHz、44.1kHz の PCM に限定される AudioGate 4 ライト版は、どなたでも無料でお使いいただけます。

インストールができません。

必ず管理者権限のあるアカウントでインストーラーを起動し、インストール作業を行ってください。

Mac で AudioGate が起動しません

お使いの Mac に、旧バージョンの SONY UDA-1 ドライバーがインストールされている場合は、AudioGate が正常に起動しない場合があります。SONY UDA-1 ドライバーを最新のバージョンに更新してください。

市販の SACD および DVD-Audio を再生できますか？

SACD はその仕様上、PC では再生できません。市販の DVD-Audio の再生は AudioGate では対応しておりません。

Mac で DSD のネイティブ再生は出来ますか？

DS-DAC シリーズを使用する場合に限り、Mac での DSD ネイティブ再生に対応しています。AudioGate は v2.3.3 以降 (AudioGate 4 推奨)、DS-DAC ドライバー・ソフトウェア v1.0.8 以降 (Mac OS X10.8 では v1.0.5)、DS-DAC-10 の場合は、ファームウェア v1.0.5 以降の最新バージョンをお使い下さい。なお DS-DAC-10R についてはドライバーのインストールは不要です。

WASAPI で使うことはできますか？

お使いいただけます。オーディオ・デバイスの設定で、ドライバーの種類として WASAPI を選択してください。

“Boot Camp”など Mac 上の Windows 環境での動作保証について

Mac OS 上で、Boot Camp などを使用した Windows 環境、また、Virtual PC、VMWare、Windows XP mode など仮想 OS 内での動作保証はしていません。

WindowsPC 上の AudioGate で AAC または ALAC を再生する場合

AudioGate の環境設定でドライバーの種類を ASIO、ドライバー名に KORG USB Audio Device Driver または KORG 2ch 1bit Audio Device を設定しているとサンプリング周波数が正しく変更できないことがあります。その場合は Windows のコントロール パネルで KORG USB Audio Device Out L/R および KORG 2ch 1bit Audio Device をサウンド再生の既定のデバイスに設定せず、スピーカーなど標準のオーディオ・デバイスを設定してください。

ライブ録音 CD などのギャップレスは再生できますか？

現在のところ、AudioGate はギャップレス再生に対応していません。再生中、次のソング／トラックに移るときには必ず無音が入ります。

CD が再生できない

DVD ドライブの機種によっては CD が再生できない、再生中に音が途切れる、など再生がうまくできない場合があります。その場合はお手数ですがファイルとしてエクスポートし、ライブラリに登録してお聞きください。

その他

DSD ネイティブ再生は Windows (ASIO)、Mac とも、KORG DS-DAC シリーズ使用時のみ対応しております。

USB3.0 では正常に動作しない場合があります。コンピューターの USB コントローラー・ドライバーを最新にする、接続する USB ポートを変える、セルフパワー・タイプの USB ハブを使用する、などで改善する場合があります。これらを行っても問題が解決しない場合は USB2.0 ポートに接続してお使いください。

AudioGate 4 について

いままでと何が違うのですか？

ユーザー・インターフェイスを大幅に見直し、ミュージック・プレーヤーとしての使い勝手を向上させた AudioGate 3 に、DS-DAC-10R との組み合わせによるレコーディング機能、DSD フォノ・イコライザー(PCM での録音再生時は PCM フォノ・イコライザー)機能などを追加しました。

AudioGate 3 から AudioGate 4 への変更点は何ですか？

AudioGate 4 では、以下の機能が追加されています。

- DS-DAC-10R での DSD 録音/再生
- 録音/インプット・モニター機能
- フォノ・イコライザー設定機能

※ 録音時にかけるだけでなく、再生時にかけるながら聴くこともできます
その他、全体の動作改善も行われております。

AudioGate 3 から AudioGate 4 になり、削除された機能はありますか？

AudioGate 3 でサポートしている機能は AudioGate 4 に引き継いでいるため、AudioGate 3 をお使いの全ての方に AudioGate 4 への更新をお勧めします。

AudioGate 3 と AudioGate 4 を同じ PC にインストールすることはできますか？

Windows では、別のフォルダーにインストールされ、共存することができます。同時に起動することはできません。

Mac では、AudioGate 4 が上書きするため、同時にインストールしておくことはできません。

DS-DAC-10R をもっていない場合、AudioGate 4 で録音はできますか？

PCM 録音ができます。DSD 録音は、DS-DAC-10R 使用時のみの機能となっておりますが、有償版をお使いの方 (MR シリーズユーザー、DS-DAC シリーズユーザー、ライセンス購入者) は最大 192kHz まで、ライト版では最大 48kHz までの PCM 録音ができます。

PCM 録音時には、たとえば PC の内蔵マイクで録音したり、オーディオ・インターフェースを使用して録音できます。また、録音時にフォノ・イコライザーをかけることや、再生時のフォノ・イコライザー設定も有効です。

DS-DAC-10、100、100m や MR シリーズのユーザーは AudioGate 4 を使えますか？

従来通り DS-DAC シリーズや MR シリーズ・レコーダーで認証することにより、全機能をお使いいただけますが、これらの機種では AudioGate 4 による録音はできません。内蔵マイクなど他の入力デバイスを使用すれば録音することができます。

AudioGate V2.3 のメタデータ編集機能や、Export などの機能はあるのですか？

AudioGate 4 には AudioGate v2.3 と同等の編集機能が搭載されています。

AudioGate v2.3 で設定したメタデータを AudioGate 4 に引き継ぐ方法

AudioGate v2.3 に登録したソングにタイトル、アルバム名などのテキスト・データやアート・ワークを設定した場合はソングリスト (拡張子 agsl) に保存されます。AudioGate 4 のソングリスト・ウィンドウにこのソングリストをドラッグ・アンド・ドロップして登録すると (「オーディオ・ファイルを追加」でも可能) これらのメタデータは全て引き継がれます。WAV や DSDIFF のようなメタデータをサポートしないフォーマットでもエクスポートしなおす必要はありません。

旧バージョンのダウンロードはできますか？

AudioGate v2.3、AudioGate 3 がダウンロード可能です。

<http://www.korg.com/jp/support/download/product/0/279/>

※認証には DS-DAC シリーズ、MR シリーズが必要となります。

DSD 音源の入手について

1-bit DSD のファイルはどこで手に入れますか？

下記の国内外の音楽配信サイトでダウンロード購入が可能です。

国内:

[e-onkyo music \(5.6MHz データ配信あり\)](#)

[OTOTOY \(5.6MHz データ配信あり\)](#)

海外:

[Blue Coast Records \(AudioGate フリー化記念無料配信あり\)](#)

DSD ファイルのダウンロード前に、Blue Coast Records のアカウントを作成する必要があります。



[Channel Classics Records \(>>>ダウンロードテスト用無料配信あり\)](#)

[DSDFile.com \(5.6MHz データ配信あり\)](#)

[2L \(HiRes Download\)-test bench](#)

[Acoustic Sounds](#)

[Downloads NOW!](#)

[High Definition Tape Transfers](#)

[HighResAudio](#)

下記のサイトでは DSD 5.6MHz データを収録した DVD を販売しています。

国内:

[赤川音響 Master Direct シリーズ](#)

[SA-CD ラボ](#)

DS-DAC シリーズについて よくあるご質問(FAQ)

DS-DAC シリーズ製品の仕様および操作方法に関する質問

DoP に対応していますか？

DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m は DoP に対応しておりません。DSD ネイティブ再生を行うには、Windows では AudioGate 4(推奨)など、ASIO2.1 の DSD オプションに対応したプレーヤーをお使いください。

DS-DAC-10R は iAudioGate for iPhone による DoP 再生に対応しています。

*iOS デバイスとの接続に Lightning - USB カメラアダプタ または iPad Camera ConnectionKit を使用し、セルフパワー・タイプの USB ハブなどによる電源供給を行うことで iAudioGate for iPhone を利用することができます。

市販の SACD および DVD-Audio を再生できますか？

SACD はその仕様上、PC では再生できません。市販の DVD-Audio の再生は AudioGate では対応しておりません。

Mac で DSD のネイティブ再生は出来ますか？

AudioGate を使った場合のみ、Mac で DSD ネイティブ再生に対応しています。

AudioGate は v2.3.3 以降 (AudioGate 4 推奨)、DS-DAC ドライバー・ソフトウェア v1.0.8 以降 (Mac OS X10.8 では v1.0.5)、DS-DAC-10 の場合は、ファームウェア v1.0.5 以降の最新バージョンをお使い下さい。なお DS-DAC-10R についてはドライバーのインストールは不要です。

AudioGate で ASIO を使って再生したい

AudioGate のオーディオ・デバイス設定でドライバーの種類に ASIO を設定し、ドライバー名には “KORG USB Audio Device Driver”(DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m の場合)または KORG 2ch Audio Device(DS-DAC-10R の場合)を選択してください。

Windows の「既定のデバイス」として選択する必要はありません。

iTunes、YouTube からの音声を DS-DAC で再生したい

Windows の場合：

システムの音声や iTunes、YouTube の音声を本機から出力したい場合には、Windows の「既定のデバイス」として “KORG USB Audio Device Driver”(DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m の場合)または KORG 2ch Audio Device(DS-DAC-10R の場合)を選択してください。

Windows7 ではデスクトップのタスクトレイ内のスピーカーアイコンを右クリック、[再生デバイス(P)]で設定できます。

DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m の場合は、DS-DAC-10 のコントロールパネルの [Driver]タブで Mode を PCM に設定します。

Mac OS X の場合：

システム環境設定→“サウンド”の“出力”タブ、または、アプリケーション→ユーティリティ→“Audio MIDI 設定”の“オーディオ装置”タブで使用する機器を選択してください。

WASAPI で使いたい

AudioGate では DSD/PCM の切り替えが要らない ASIO を選択することをお勧めしますが、DS-DAC シリーズは WDM に対応しておりますのでお使いのプレーヤーが WASAPI に対応していればご使用いただけます。

DS-DAC-10R に接続可能なレコード・プレーヤーのカートリッジについて

DS-DAC-10R のフォノ入力は MM カートリッジ専用です。MC カートリッジをご使用の場合にはその出力を MM カートリッジ相当に変換するため、MC カートリッジ用昇圧トランスやヘッドアンプを通して DS-DAC-10R の入力端子に接続し、“Rec Setting”の Line/Phono を“Phono”に設定してお使いください。

DS-DAC-10R でフォノ・イコライザー内蔵のレコード・プレーヤーから録音したい

フォノ・イコライザー内蔵のレコード・プレーヤーの出力を直接 DS-DAC-10R の入力端子に接続し、“Rec Setting”の Line/Phono を“Line”に、Phono EQ を“Off”に設定して録音してください。

DS-DAC-10R でオーディオ・アンプの出力を録音したい

CD プレーヤーなどの機器をオーディオ・アンプに接続して録音する場合には、オーディオ・アンプの出力を DS-DAC-10R の入力端子に接続し、“Rec Setting”の Line/Phono を“Line”に、Phono EQ を“Off”に設定して録音してください。

オーディオ・アンプに接続することが出来ますか？

アナログ出力(RCA)端子に接続することが出来ます。音量の調整はアンプ側で行ってください。アクティブ・モニターなどをお使いでアンプ側での調整が困難な場合には AudioGate 4 のマスター・ボリュームで調整することができます。(この場合はビット・パーフェクトになりません)。

600Ω などインピーダンスの高いヘッドフォンは使えますか？

一部のインピーダンスの高いヘッドフォンでは、十分な音圧が得られないことがあります。その場合はアナログ出力(RCA)端子にハイインピーダンス対応のヘッドフォンアンプを接続してください。

DS-DAC-10 のデジタル出力端子から DSD は出力されますか？

デジタル出力端子は S/PDIF 規格に対応しており、PCM が出力されます。DSD 再生時には使用できません。

コントロールパネルはどこにありますか？

Windows の場合：

スタート・メニュー→すべてのプログラム→KORG→USB Audio Device→USB Audio Device Control Panel をクリックします。また、AudioGate を使用時はオーディオ・デバイスの設定画面から起動することも出来ます。

Mac OS の場合：

アプリケーション→KORG→USB Audio Device フォルダの中にある KorgDSDAC10ControlPanel.app を開きます。

USB3.0 ポートに接続して使用できますか？

本機は USB2.0 仕様に準拠しています。USB2.0 との互換性が不十分な USB3.0 ポートを持つコンピュータが多く存在し、本機を認識しない、音が出ないなどの例が報告されています。

Windows の場合：

Intel 7 シリーズチップセットが搭載されたパソコンでは下記のインテル USB 3.0 Driver を御使用ください。

[USB 3.0 eXtensible Host Controller Driver for Intel® 7 Series/G216 Chipset Family](#)

お使いのパソコンのチップセットが不明の場合はパソコンのメーカーにお問い合わせください。

Mac OS の場合：

最新のドライバー・ソフトウェアをお使いください。

上記に当てはまらない場合、USB2.0 ポートに接続してください。USB2.0 ポートがない場合にはセルフパワー・タイプの USB2.0 High Speed 対応ハブを経由して接続すると使用できる可能性があります。その際、接続は起動前に行うか再起動をしてください。

“Boot Camp”など Mac 上の Windows 環境での動作保証について

Mac OS 上で、Boot Camp などを使用した Windows 環境、また、Virtual PC、VMWare、Windows XP mode など仮想 OS 内での動作保証はしておりません。

DSD 音源の入手について

[こちらをご覧ください。](#)

故障とお思いになる前に

DS-DAC-10 ファームウェア・アップデート時の注意

DS-DAC-10 で v1.0.3 以前からのファームウェアのアップデート中に DS-DAC-10 から音声が出力されるとエラーが発生することがあります。

DS-DAC-10 を使用しているアプリケーション (AudioGate など) が起動している場合は、アプリケーションを閉じ、Control Panel の右下の表示が Ready もしくは Stopped になるまでお待ちください。

また、システムの音声が出力される設定になっている場合は、アップデートが終了するまでは音声が出力されないようにしてください。

Windows ではサウンド設定の既定のデバイスから解除、Mac OS ではシステム環境設定→“サウンド”の“出力”タブ、または、アプリケーション→ユーティリティ→“Audio MIDI 設定”の“オーディオ装置”タブで内蔵スピーカーを選択すれば DS-DAC シリーズ製品からは音声が出力されません。お手数ですがアップデート完了後に設定を戻してください。

Windows PC 上の AudioGate で AAC または ALAC を再生する場合の注意

AudioGate の環境設定でドライバーの種類を ASIO、ドライバー名に KORG USB Audio Device Driver または KORG 2ch 1bit Audio Device を設定しているとサンプリング周波数が正しく変更できないことがあります。その場合は Windows のコントロール パネルで KORG USB Audio Device Out L/R および KORG 2ch 1bit Audio Device をサウンド再生の既定のデバイスに設定せず、スピーカーなど標準のオーディオ・デバイスを設定してください。

動作環境について

[こちらをご覧ください。](#)

DS-DAC-10(DS-DAC-100/DS-DAC-100m/DS-DAC-10R)から音が出ない

USB ケーブルは何をお使いですか？

付属の USB ケーブルをお使いください。

市販のケーブルの中には Full Speed にしか対応していないものもあります。ご自身で用意なされる場合は必ず USB2.0 HighSpeed 対応ケーブルをお使いください。

USB ハブをお使いですか？

バスパワー・タイプの USB ハブを使って接続しているときに電力不足で電源が入らなかったり、動作が不安定になったりする場合があります。

その場合は USB ハブを経由せずにコンピューター本体の USB 端子に直接 DS-DAC を接続するか、セルフパワー・タイプの USB2.0 HighSpeed 対応ハブをお使いください。

USB ケーブルを一旦外して、再度接続してください。

Windows の場合、DS-DAC-10 Control Panel で一度サンプリング周波数(Sample Rate)を変更すると回復することがあります。(DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m の場合)

Windows で DirectSound、Wasapi で使用している場合

(DS-DAC-10/DS-DAC-100/DS-DAC-100m)

PC によっては KORG DS-DAC-10 Control Panel で Streaming Buffer Size が”Safe”に設定されていると 44.1kHz で動作しないことがあります。Streaming Buffer Size またはサンプリング周波数 (Sample Rate)を変更してください。

USB ケーブルが断線していませんか？

コンピューターの USB 端子は正常ですか？

電源が入らない、コンピューターで認識できない、動作が不安定 (DS-DAC-10R)

サンプリング周波数インジケータが点滅している

「サンプリング周波数インジケータが複数点灯している (DS-DAC-10R)」の項を参照してください。

サンプリング周波数インジケータが正常に点灯

Windows で初回接続時には OS が複数のドライバーを自動でインストールするために DS-DAC-10R が PC に認識されるまで時間がかかることがあります。

しばらく待ってから AudioGate などのアプリケーションを再起動してください。

電源が入らない、コンピューターで認識できない、動作が不安定 (DS-DAC シリーズ共通)

Windows の場合：

コントロール パネル⇒ハードウェアとサウンドでサウンド設定を開きます。再生、録音タブで使用する製品が表示されていることを確認してください。

また、OS のミキサー設定で Mute が ON になっていないか確認してください。

Mac OS の場合：

システム環境設定からサウンド設定を開き、出力、入力装置として使用する製品が認識されているかを確認してください。

正常に表示されていない場合は USB ケーブルを一旦接続し直してからサウンド設定を開きなおして正常に表示されているかを確認してください。

DS-DAC のサンプリング周波数インジケータがエラー表示になっている場合があります。

⇒「サンプリング周波数インジケータが複数点灯している」の項をご覧ください。

他の機器のデバイス・ドライバー、アプリケーションとの兼ね合いで一時的に不具合が出ている可能性があります。

コンピューターと接続し直したり、DS-DAC-10 コントロールパネルでサンプリング周波数を変更したりすると改善することがあります。

DSD 再生が出来ない／DSD モードを選択出来ない

AudioGate は v2.3.3 以降 (AudioGate 4 推奨)、DS-DAC ドライバー・ソフトウェア v1.0.5 以降、DS-DAC-10 の場合はファームウェア v1.0.5 以降の最新バージョンをお使い下さい。いずれか一つでも古いバージョンのままですと DSD 再生ができません。それぞれバージョン番号を確認し、最新でなければダウンロードページよりダウンロードし、インストールしてください。

Windows の場合：

スタート・メニュー→すべてのプログラム→KORG→USB Audio Device→USB Audio Device Control Panel をクリックして KORG DS-DAC-10 Control Panel を開き、Version タブをクリックして Driver Version、Firmware Version を確認してください。AudioGate のバージョンはヘルプメニューから “AudioGate について” を選択すると表示されます。

AudioGate のオーディオ・デバイス設定でドライバーの種類に ASIO を設定し、ドライバー名 “KORG USB Audio Device Driver” を選択してください。

Mac OS の場合：

アプリケーション→KORG→USB Audio Device フォルダの中にある

KorgDSDAC10ControlPanel.app を開き、Version タブをクリックして Driver Version、Firmware Version を確認してください。AudioGate のバージョンはメニューバーの AudioGate をクリックし “AudioGate について” を選択すると表示されます。

AudioGate のオーディオ・デバイス設定でドライバーの種類に CoreAudio を設定し、ドライバー名 “KORG USB Audio Device Driver” を選択してください。

DS-DAC-10R でレコード・プレーヤーの音がモニターできない/録音できない

- 1) Rec Setting をクリックし録音設定で Line/Phono を “Phono” に設定してください。
- 2) レベルメーター下の “Input Monitor” ボタンをクリックすると入力音が聞こえるようになります。
- 3) マスター・ボリューム/入力レベル・スライダーを上下にドラッグし、DS-DAC-10R の入力レベルを調整します。
- 4) 編集/録音画面で録音ボタンをクリックすると録音が開始されます。

DS-DAC-10R の入力音がひずむ、割れる、または小さすぎる

Line 出力を接続して Phono に設定すると音がひずんだり割れたりします。また Phono 出力を接続して Line に設定すると音が小さすぎて入力レベルを上げて調整できません。録音設定で Line/Phono の設定が正しくできているかを確認し、DS-DAC-10R の入力レベルを調整してください。

サンプリング周波数インジケータが複数点灯している (DS-DAC-10R)

緑色と青色が交互に点滅している

DS-DAC-10R をコンピューターに接続したときに、インジケータの緑色と青色が交互に点滅している場合は、システム・セットアップ中です。インジケータが点灯に変わってから AudioGate を起動してください。

サンプリング周波数インジケータが複数点灯している (DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m)

48kHz、96kHz、192kHz の3点が点灯している

ファームウェア・アップデート要求状態です。ダウンロードページより「DS-DAC-10 ファームウェア」をダウンロードして、フォルダー内の PDF に従いアップデートを行ってください。

その他

システムエラーが発生しています。ファームウェア、ドライバー・ソフトウェア、AudioGate が全て最新バージョンであることを確認してください。一度 USB ケーブルを抜き、再度接続して電源を入れなおしてください。何回か試しても状態が変わらない場合は故障が考えられますので、コルグ・カスタマー・サポートにご連絡ください。

サンプリング周波数インジケータの赤色が早く点滅している(DS-DAC-10R)

システムエラーが発生しています。一度 USB ケーブルを抜き、再度接続して電源を入れなおしてください。何回か試しても状態が変わらない場合は故障が考えられますので、コルグ・カスタマー・サポートにご連絡ください。

サンプリング周波数の切り替えに時間がかかる、または切り替えができない

Windows PC の環境により、このような症状が発生する場合があります。以下のことをお試しください。

DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m の場合

スタート・メニュー→すべてのプログラム→KORG→USB Audio Device→USB Audio Device Control Panel をクリックして KORG DS-DAC-10 Control Panel を開きます。Driver タブの Streaming Buffer Size または ASIO Buffer Size を、動作が改善されるまで一段階ずつ小さくしてみてください。

Windows の「既定のデバイス」として“KORG USB Audio Device Driver”以外を設定してください。

DS-DAC-10R の場合

Windows の「既定のデバイス」として“KORG 2ch 1bit Audio Device”以外を設定してください。

音が途切れる／ノイズが混ざる

リアルタイム変換再生時

すべてのリアルタイム変換処理を常に「高品位」で行うにはインテル® Core™ プロセッサー・ファミリーで最大動作周波数 3.1GHz 以上のスペックが必要です。特に 5.6MHz への変換再生には CPU の処理負荷が高くなります。スペックが不足する場合は予めエクスポートをして DSD ファイルを作成してから再生するか、「低負荷」に設定してください。

ノートパソコンをお使いの場合

省電力設定にしていると CPU 性能が高くてもノイズが発生する場合があります。状況に合わせて「コントロールパネル」の「電源オプション」で電源プランを変更、またコンピューター独自の eco プランなどもオフにしてください。

Windows で ASIO 再生時(DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m)

スタート・メニュー→すべてのプログラム→KORG→USB Audio Device→USB Audio Device Control Panel をクリックして KORG DS-DAC-10 Control Panel を開きます。Driver タブの Streaming Buffer Size および ASIO Buffer Size を大きくする方向で調整してください。

Windows でシステムの既定のサウンドデバイスとして使用しているとき (DS-DAC-10、DS-DAC-100、DS-DAC-100m)

スタート・メニュー→すべてのプログラム→KORG→USB Audio Device→USB Audio Device Control Panel をクリックして KORG DS-DAC-10 Control Panel を開きます。Driver タブの Mode を PCM に設定してください。

AudioGate でオーディオ・デバイスのサンプリング周波数を Auto に設定している。

オーディオ・デバイスのサンプリング周波数を Auto に設定している場合や、手動でサンプリング周波数を変えたときにプツツというようなノイズが聞こえることがありますが、故障ではありません。

USB3.0 ポートに接続している。

USB2.0 ポートに接続することをお奨めします。

⇒「DS-DAC シリーズ製品の仕様及び操作方法に関する質問」の「USB3.0 ポートに接続して使用できますか？」の項をごらんください。

コルグ・カスタマー・サポートへのお問い合わせ

コルグ製品に関するお問い合わせはこちら

<https://www.korg.co.jp/Contact/products/>

修理のご依頼はこちら

<http://www.korg.co.jp/Support/repair/>